音楽専科臨時増刊

河合奈保子

そよ風のメッセージ



音楽専科増刊 アイドルNO,1シリーズ

アイドル NO,1 part 2



“アイドルNO, 1”シリーズ第2弾!!

河合奈保子、松田聖子、近藤真彦、野村義男、柏原よしえ、真田広之、沖田浩之他 '81年に飛躍するアイドルを総特集!!

●A4判●全84頁●定価650円

アイドル NO,1 part 1



河合奈保子、松田聖子、三原順子、岩崎良美、田原俊彦、石坂智子、を豪華にカップリング。いま、人気絶頂のアイドルを総特集!!

●A4判●全88頁●定価650円

好評 発売中!!

●お求めは
最寄の書店に注文なさるか、又は誌名明記の上、現金書留、郵便小為替にて各誌の定価金額をお送り下さい。

■発売／音楽専科社
〒104 東京都中央区銀座5-1-7(数寄屋橋ビル)TEL.03(574)0201(代)


朝のお散歩、
今日は何か良いことがありそう……

















好き、嫌い、好き、嫌い
来る、来ない、来る、来ない
花びらをちぎって占う恋占い

ね、お花がかわいそう
もし、お花をちぎって、恋を占ったら

嫌い、嫌い、嫌い
来ない、来ない、来ない

奈保子はそんな気がして
花びらをちぎって、恋占いが出来ません







どこへ行っても
初めて見る景色、初めての出会い

とまどいながら
くるくると過ぎていった日々
あわただしかった毎日

一年経って見た同じ景色
一年経ってふり返えるたくさんの出会い

この季節のにおいと
さわやかな風が
ふっと、デビュー前の私の日々と
素敵な一年を
思い出させてくれたのです



なんて可愛いの?
なんてやさしいの?
小鳥たちの歌声
小鳥たちのおしゃべり
さやさやと
もう夏のにおいのする木々の間で
さやさやと
光ってゆれる葉のかげで
たくさんの小鳥たちが歌っています

あなたにも
小鳥の歌が聞こえますか?





風にのって
季節がめぐってくるように
風にのって
雲が流れていくように

いつも、私の夢は
風が運んで来てくれます

いつか、こんなにキラキラと輝く日に
こんなにさわやかな季節に

風が私に、
素敵な人の名を
教えてくれそうな、そんな気がするのです




思い出してみたい











奈保子……

本名は奈保子を、なほこと読むんです。だから、両親も私のことを「なほ」と呼んでいますし、私自身も「なほがネ！」って、いつもそう言ってました。

呼び方はちょっぴり違っても、芸名と本名が同じでよかったなって思ってます。

もちろん、別の素敵な名前をつけていただいたとしたら、きっとその名前が好きになったと思うけど……。

でも、お父さんとお母さんがつけてくれた名前が好きだし、その名前のままでお仕事が出来るのはとっても嬉しいです。

いつだったか、お父さんが話してくれました。私が生まれた時、ふつうの赤ちゃんより少し小さかったので、病気をしない丈夫な子に育ちますようにという願いをこめて、奈保子と名前をつけた話……。





将来の話はたくさん、お話ししちゃったから、もう言いません。

だって、この間も雑誌の取材で、白石先生を訪ねたんですけど、先生が「奈保のおかげで有名になっちゃったゾ!」って……。

いけなかったかな、先生ゴメンナサイ。

でも、奈保子はまだ恋人の話、出来ないんです。

いつか好きになる人にめぐり会ったらってそんなことは考えることもありますけど。

でも、とっても恥しいな、こういうお話は……。

映画を見たり、本を読んだりして、素敵なシーンがあると、あゝ、私もいつか素敵な人と……なんて。

そうですね、もしも、もしもね、奈保子がデートするとしたら、街のティー・ルームとか、映画を見に行くというより、広～い野原とか、お花のいっぱい咲いている公園とかが良いです。

太陽がキラキラ輝いて、一面緑色で、そんな場所でたくさんたくさんお話をするんです。

そして、奈保子の夢を聞いてもらったり、彼の夢の話を聞いて。

とっても幼稚っぽいって言われそうだけどでも、そんな日が来るでしょうか?



生まれて初めてのひとり暮しも、もう一年になります。
最初の頃はやっぱり心細い夜がありました。長い間の習慣で、夜中にふっと目が覚めると、となりに妹の由佳里がいるようで、暗い部屋の中で目をこらしてみたり……。
半分ねぼけているのに気がついた頃に、"ああ、私は東京にいるんだ" なんて思って、そんな時にちょっぴり寂しいなって感じました。
お仕事が終わって、遅い時間に帰って、お布団を敷いて、お風呂に火をつけます。
お風呂がわくまでに、明日のお仕事の台本を読んだり、着るものを用意したり……。
いつだったか、お風呂がわくまでと思ってちょっとお布団の上に横になったら、そのまま眠ってしまって……。
あっと目を覚まして時計を見たら3時過ぎ。あわてて、お風呂場に飛んで行ったら、お風呂がゴボゴボと煮たっちゃってたんです。
もうびっくりして心臓が止まりそうでした。
次の日に、清水さんにそのことを言ったら、ものすごく叱られてしまいました。
それからは絶対に、お風呂の失敗はしていません。
お母さんやお父さんにも、このことはとっても心配かけてしまったんです。電話のたびに、お風呂のことを注意されました。
ひとりで住んでいるっていうことは、いろんなことに気を配らなければいけないのに、オッチョコチョイの[illegible]は、みんなに心配をかけてしまったこと、とってもとっても[illegible]しています。





家族……

私の一番大切な家族をご紹介しますね。

お父さんは河合修文、印刷関係のお仕事をしています。お母さんは勢津子、そして今年中3になった妹の由佳里と4人家族です。

とっても明るい家族で、みんな音楽が好きなほうです。

お父さんがビールを飲んでゴキゲンになった時は、私のピアノの伴奏で歌ったりしましたっけ……。

お母さんとはお友達みたい、何でも話してそして、お母さんも私や由佳里に、自分の若い時のこととかを話してくれます。

そういえば、お父さんとお母さんの大恋愛の話も聞かせてくれました。

お母さんの田舎も、お父さんの田舎も新潟県で、街は少し離れていたみたい。

それで、ナント、お父さんは、お母さんがまだ高校生の頃に好きになったんですって。

あんまり詳しいことは聞かせてくれなかっ



たけれど、いつか、私がもう少し大人になったら、聞かせてもらおうと思っています。
　お父さんもお母さんも、しつけは厳しいほうだと思います。
　それも叱るとか、ガミガミ言うのではなくて、晩の食事の時に、ゆっくりと私や由佳里が分かるように話してくれるんです。
　だから、私も由佳里も、素直にお父さんやお母さんの言うことを聞いていたと思います。
　今は、一緒に住めないから、あの頃の一家団らんのことをいつも思い出します。
　私が東京へ来る日、お父さんとお母さんに言われた言葉、今もしっかり胸にしまっています。
「奈保子が選んだ人生なんだから、意志を強く持って頑張りなさい」
「けじめだけはつけられる子、人さまに迷惑をかけることだけはしないように」
　私、家族と離れてる分だけ、みんなに心配かけない子でいたいと思っています。



雑誌のお仕事は、私の好きなお仕事のひとつです。
決勝大会で優勝が決まった時は、たくさんの記者の方やカメラの方が、ワアーという感じで、いろんなことを質問され、フラッシュがパッパッとまぶしくて、もうもうびっくりするだけでした。
でも、2回とか3回とか、それぞれの雑誌社や新聞社の方に合うようになって、今では少しだけ慣れました
取材や撮影は、東京だけでなく、お仕事先の時もあります。
そんな時は、2日間くらい記者の方、カメラの方と一緒なので、仲良しになって、いろいろ勉強になることを聞かせていただいたり教わることがたくさんあるんです。
寒い日に、夏のグラビアを撮影する時は「ハイ、奈保子ちゃん、暑い顔して」なんて言われて、気分だけは夏、面白いでしょう。
雨が降っている時、もちろん大雨じゃなくて小雨の日の撮影でも同じです。
撮影の場所を決めて、カメラの方がシャッターを押すまでは傘をさしてるの。そして、「ハイ、いきましょう」って言われるとサッと傘をどけて、顔だけはお天気です、って顔をするんですヨ。
奈保子も、このお仕事をする前は、いろんな雑誌を買って見てましたけど、今は逆になっちゃって、ちょっぴり変な気分です。





あわい緑の田園風景……
空は青空とまではいかなかったけれど、空気はおいしいし、自然の中にいる時の奈保子はとってもゴキゲンです。
ちょうどコンサートが、神戸、倉敷、広島で行われ、この写真は、岡山から倉敷の会場へ向う途中なのです。
頭の中はコンサートのことでいっぱいだったけれど、移動の途中に雑誌(月刊『平凡』)の撮影があって、奈保子はほんの少しだけ〝ホッ〟と息ぬきが出来ました。
広いどこまでも続く田園のあちこちに、い草が干してありました。
畦道の小さな石土蔵、ひっそり咲いてた名前も知らない野の花……。
それから、それから。
倉敷は、白壁の土蔵が並んで、それがお堀に映っていました。
たくさんの観光客の人が通り過ぎていくなかで、奈保子はひとり、この古い街並にうっとり……
この次、もう一度ゆっくり訪ねてみたい街。ひとりで、吉備路を歩いて、倉敷の街までうんと時間をかけてね！













たくさんの応援をありがとう！
ステージにも燃えています


































毎日毎日、好きな歌を歌っていられる。
それだけでも、奈保子はとってもとっても幸せです。
そして、その上にコンサートを開ける……夢のようです。
まだ数えるほどしか、コンサートを開いてはいないけど、もう、すっかりコンサートのとりこになっています。
ひとつのコンサートの幕が上がるまでに、とってもたくさんの方達が、同じ目的の為に力を合わせることの素晴しさも知りました。
何年も、ステージづくりのお仕事をしている方達の中で、一番の新米が奈保子なのですから、すごく緊張してしまいます。
でも、緊張しているのは奈保子より、スタッフの方達かもしれません。
奈保子が失敗しないかどうかハラハラしたり、とちった時にカバーしてくれたり……
事務所の方達、指揮をしてくださる先生、舞台監督や演出の先生、振付けの先生、バンドの方々、コーラスの方、照明や音響の方々、それに舞台を作ってくださる方々、
本当にたくさんの方達に支えられて、奈保子はコンサートが開けるんです。







初めてのコンサートは、去年の10月、デビューしてから5カ月目でしたから、こわいという気持ちと不安ばかりでした。

本当に最後まで歌えるかしら？ 舞台の上であがっちゃって、歌詞を忘れたら……あゝ、それより、お客さんは来てくれるかしら？

今も、そんな心配は変わりなく、奈保子の胸から離れてくれません。

でも、コンサートの素晴しさを思うと、そんなことは、吹き飛んでしまいます。

奈保子を支えてくれる、スタッフの方が一生けん命に奈保子の為にと、頑張ってくださっているのを見ると、そんなことは言っていられません。

それに何よりも、こんな未熟な奈保子のステージに集まってくださるたくさんのみなさんの為にも……

これからも頑張ります。





コンサートで歌う曲が決まって、レッスンが始まります。
いつもテレビやラジオでは聞いていただけない曲が多いだけに、お家に帰ってからも何回も何回も歌ってみます。
アレンジの先生に教えていただいたことを、忘れないように…… こんな時はお仕事の合い間、例えばテレビの番組のお休みの時間や、移動の車の中や、時間をみつけては何度でも歌ってみます。
取材で撮影の時、奈保子が誰にも聞こえないように歌っていると、雑誌社の方が「奈保子ちゃん何をブツブツ言ってるの？」なんて言われちゃって、「スミマセーン」て謝ることもあるんです。
でも、そんな時でも、カメラの方が「奈保子ちゃん、もっと大きい声で歌ってて良いんだヨ、そのほうがリラックスして顔がよくなるから」なんて言ってくれます。
奈保子は小さい頃から、いろいろ楽器を習っていたので譜面は一度で読めるのですが、歌詞のほうが心配なんです。
やっぱり、何回も何回も歌って覚えて、その歌を奈保子なりに自分のものにしなきゃって、そんなように考えているのですが……





コンサートのプログラムに合わせて、レッスンを進行します。

バンドの方達、コーラスの方達が全員そろってのレッスンです。

振付けの一の宮先生もいらして、オープニングはこの位置から、この曲では、上手から下手へ動いて、中央に戻りなさいという具合いに細かい指導をしてくださいます。

奈保子は動きが鈍いほうなので、なかなか先生に教えられたように出来なくて

ついつい歌うことばかりに気をとられて、振りをまちがえてしまったり。

何回も何回もやり直し、でも、バンドの方達も他の皆さんも、みんな笑いながら同じことを繰り返してくださるのです。

そんなとき、プロデューサーに「奈保子、同じことを何回も言わせちゃダメだぞ！」とおお目玉をいただきます。

「スミマセーン」と奈保子

でもでも、何回でも叱ってください。

奈保子はもっともっと、歌もうまくなりたいし、聞いてくださるたくさんの方にほめていただけるような歌手になりたいのですから、



初めてのコンサートの時には、マンドリンを弾きました。
そして、スプリング・ツアーでは、ピアノの弾き語りをやらせていただきました。
マンドリンもピアノも、大阪にいた頃は一日として離したことはなかったのですが、東京に来てからは、ずっと弾いていないので、やっぱり指がスムーズに動かなくて、心配でした。
ましてファンのみなさんは、奈保子がマンドリンやピアノをやっていたのを知っているのですもの、失敗は出来ません。
歌詞を覚える時と同じに、暇さえあればヒザの上で指を動かしてピアノの練習をします。
スプリング・ツアーが終わってから、ファンの方からのお便りに、〝奈保子ちゃんのピアノ、とっても良かった〟というお便りが多くて、すっごく嬉しかったんです。




& YOUR F


SHI
STACHE




THE







最後のリハーサル。
コンサート会場のステージに上がって、コンサートの当日に行うのですが、本当にこれが最後のリハーサルということで、スタッフのみなさんの表情も厳しく感じられます。
ここまでくると奈保子も、もうこわいとか心配だなんて言っていられません。
頭の中で、今まで言われたこと、教わったこと、注意した個所を自分なりに確認しながらのリハーサルです
ですから、最後のリハーサルの時、奈保子は、もう会場にはお客さまが入って、私の歌を聞いていてくださってるんだ、そう思いながら、一曲一曲を歌うようにしています。
それでもやっぱり、何回か注意を受けてしまうのです。
「あゝ、奈保子はどうしてこうなんだろう」
でもでも、幕が上がるまでは、もう時間がないんです。

コンサート会場の楽屋は、いつものテレビやラジオ局の楽屋とは違っています。
いろいろな人が、奈保子、あれはこれは。と次々に出たり入ったり。
コンサートで着る予定の衣裳がズラーッとかかって、たくさんのお花が届けられて
何だか今でも私の楽屋じゃなく、誰か歌手の人の楽屋を訪ねたみたいな錯覚をすることがあります。
そんな楽屋で奈保子は、最後の仕上げです。
吸入器で喉の調子を整えて、ドライヤーで髪をセット。
そして、ちょっぴり腹ごしらえをして……
奈保子は、とっても[illegible]がり屋なのです。ふ





んなは、〝そんなふうに見えないヨ〟といってくださるのですが、テレビでも本番前はとっても上がってしまうのです。
それを知っているスタッフの方達は、奈保子の気持ちをほぐしてくださるように、いろいろなお話をしてくれます。
一の宮先生が「あそこの所、間違いやすいから気をつけるんだよ」と最後のアドバイス。オープニングの衣裳をつけて、1ベルが鳴るのを待ちます。
その頃になると、身体中が心臓になったみたい！
大きく深呼吸をして、それから大きな声で「アー」これでちょっぴり落ち着くんです。







何も考えないで、固く目をとじます。
幕が上がる前の一瞬です。
身体に力が入いって、コチコチで、立っているのに、身体がゆれているような気がするんです。
幕が上がってからしばらくは、奈保子からは会場はまっ暗で何も見えません。
暗闇の中で、奈保子はたったひとりという感じです。
でも、会場のみなさんの拍手やコールで、コチコチだった奈保子も、ちょっとだけ緊張がとけます。
あとはただただ、一生けん命に歌うだけ。
幕が上がってからは、もう、ファンのみなさんの応援だけ、本当に奈保子はすがるのです。





とっても嬉しいお知らせです。
今年の夏は、サマー・ツアーで、また全国のみなさんとステージでお会い出来るんです。
デビューから、たった一年しか経っていない奈保子には、とっても夢みたいに嬉しいお話です。
でも、奈保子の夢はやっぱり、良いお仕事をたくさんすること、私を応援してくださる方達に喜んでいただけるステージをたくさんやっていきたいんです。
まだまだ、お勉強しなければならないことばかりですが、頑張ります。
そして、まだ奈保子が行ったことのない街へ行って、ひとりでも多くの方にお会いしたいのです。
これからも、奈保子を応援してください。
そして、サマー・ツアーでまたお会いしましょうね。





公園、ブランコ水遊び
小さい頃を思い出します




CHILD



奈保子辞典



【あ】

＝愛＝アイ
とっても大きなもの、やさしい響きの言葉
人間の愛だけじゃないし、自然にも動物に
も、すべてのものに対するやさしさやいた
わりを例えた言葉ですね。

＝赤＝アカ
赤ちゃん、
花ならチューリップかバラです。

＝憧れ＝アコガレ
事務所の先輩の岩崎宏美さんの美しい声、
女の子としての憧れは、スッキリやせたス
タイル、それに将来、私の前に現われる？
かもしれない素敵な恋人……

＝朝＝アサ
一日のうちで好きな時間、季節ごとの朝が
好きです。春ならさわやかな風、夏は日射
し、秋は高い空、冬はガラス窓の曇り、朝
目が覚めた時に窓を開けたときの気分、最
高ですね。

＝汗＝アセ
このお仕事に入ってから、汗の素晴しさを
知ったような気がします。

＝暖か＝アタタカ
寒さが苦手な奈保子には、暖かという言葉
が味方みたいなもの。日が当った縁がわや
ホカホカのお部屋が大好きです。

＝アンコール＝
もう、こんな素晴しい体験は初めてです。
ファンの方々からの応援が、私に勇気を与
えてくれます。

【い】

＝生き甲斐＝イキガイ
歌ってること、今の奈保子にとっては、こ
のお仕事をしていることが生きがいです。

＝異性＝イセイ
今までは、お話しするのも恥しかったので
すけど、たくさんのファンの方に応援して
いただいて、今は、もっともっとたくさん
の人とお話ししたいです。

＝労り＝イタワリ
やさしくて、親切なことですね。みんなが
そんな心を持っていたら、悲しいことやつ
らいことが少なくなるんじゃない？

＝銀杏＝イチョウ
東京の外苑のイチョウ並木で撮影をしたと
き、イチョウがこんなにきれいなのかって
びっくりしました。来年も秋は行ってみた
いです。

＝イニシャル＝
N・K、ファンの方からイニシャル入りの
プレゼントをいただきます。ありがとう。

＝インコ＝
10年間も飼っていたピーコのことを思い出
してしまいます。

＝インタビュー＝
スミマセン、奈保子はとってもお答えが下
手なんです。でも最近は少しだけ慣れてき
ました、ハイ。

【う】

＝ウエスト＝
あ～、もうちょっとやせて、ウエストを細
くしたいのです。

＝ウエディング＝
結婚式はウェディングドレス。

＝歌＝ウタ
もうこれは私の大好きな、一番大好きなも
の。小さい時、いつもは小さい声なんです
けど、歌う時ばかりは大きな声で、先生に
ほめられました。

【え】

＝エチケット＝
大切なことですね、奈保子は東京に出てく
る時、お父さんとお母さんに言われたんー



す。人に迷惑をかけないようにって。

＝エプロン＝

お母さんと一緒にエプロンを縫った思い出があります。今もひとりでお料理をする時はちゃんとエプロンをします。

＝遠足＝エンソク

お弁当とおやつ、リュックサックと水筒、あゝ、もう一度行ってみたいな。



【お】

＝オーディション＝

これはもう、私がこのお仕事に入れたキッカケ、忘れられません。予選は阪急ファイブ、決勝大会は東京の中野サンプラザでした。

＝お洒落＝オシャレ

奈保子はあんまりおしゃれが上手ではありません。ハニーハウスやＭＡＭのものは自分でも買いに行きます。

＝オルゴール＝

奈保子が東京へ出てくる時に、お友達がお別れにとくれました。

【か】

＝会社＝カイシャ

初めて会社（芸映プロダクション）に行った時はびっくり。電話が鳴って男の人達の大きな声、これが会社というのかなって思いました。

＝楽屋＝ガクヤ

TV局の楽屋はとっても楽しいです。先輩たちやお友達ともお話できるから。

＝風邪＝カゼ

同じかぜでも、これは困りますよね。奈保子は寒いのに弱いから冬はすぐ風邪をひいちゃうんです。

＝カレー＝

「ハウスバーモントカレー」、奈保子の出ているコマーシャルです。とっても楽しいんですよ。奈保子はカレーが大好きだから、ずーっと食べるシーンをやりたいな。

＝感激＝カンゲキ

西城さんの妹に選ばれた時、西城さんから花束をいただいて「よかったね、頑張って」って言われて、もうすごく感激でした。

＝感傷＝カンショウ

感傷なんてオーバーかもしれないけど、東京へ来た頃はちょっと……。家族を思い出した時に寂しかったです。

【き】

＝記者＝キシャ

雑誌とか新聞とか、記者の方を知らなかったので、最初の頃はお返事もうまく出来ないし、叱られるんじゃないかって心配でした。でも、やさしい方ばかり、いつもありがとうございます。

＝競走＝キョウソウ

運動会、走るのが苦手なので、あの徒競走がいやでしかたありませんでした。

＝近眼＝キンガン

ハイ。奈保子の視力は０・０８。お仕事の時に同じ人に２度もごあいさつしたり、ずい分失敗をしています。でも、ふだんは眼鏡はバッグにしまったまゝ。本を読んだり映画を観る時にしかかけません。

【く】

＝雲＝クモ

白いふわふわの雲や、羊雲や……。雲はいろんな形をしてて、じっと見てると形が変わっていくでしょ？　いろんなお話がつくれそうな気がします。

【け】

＝稽古＝ケイコ

もっと発声や歌のおケイコをしたいです。

＝決心＝ケッシン

自分のことは自分で決める、やりたいことはやらないと気がすまない性格なので、今までにたくさんの決心をしてきました。

＝健康＝ケンコウ

一番気をつかっています。小さい頃に病気をして入院しましたが今は健康そのもの。

【こ】

=恋=コイ

可愛いくて、さわやかな恋、してみたいです。

=心=ココロ

心のつく言葉ってたくさんあるでしょ。たとえば、心意気、心がけ、心がまえ、心くばり、心づかい、心残り。もっともっとあると思いますが、それだけ大事なのだと思います。

=小鳥=コトリ

インコ、カナリア、文鳥、みんな可愛いですね。

=コンサート=

これからも、もっともっと勉強して、素晴しいコンサートにしていきたいです。夏のコンサート前には、スタッフ全員合宿をすることになっています。



【さ】

=再会=サイカイ

阿久津由美さんとの再会。これは私が西城さんの妹募集で東京の決勝大会に出た時のことです。由美さんは東京の幼稚園のお友達で、10年ぶりの再会でした。

=撮影=サツエイ

最近少しだけなれました。でも最初の頃はコチコチになって、いつでも同じ顔ばかりだったみたい。

【し】

=詩=シ

へたくそですけど、詩を書くのが好き。

=七月=シチガツ

奈保子の生まれた月。お誕生日は24日です。

=塾=ジュク

ソロバン塾に通ってました。小学校の3年生の時で、暗算が3級、能力検定は2級をいただきました。

=受賞=ジュショウ

昨年はたくさんの賞をいただきました。特に「ANB音楽祭」で新人賞をいただいた時のことが忘れられません。選ばれるって思ってなかったし、会場にお母さんが来ていたりで、奈保子、泣いてしまいました。

【す】

=睡眠=スイミン

平均睡眠時間は5時間。もう少し眠りたいなって、ちょっぴりわがまゝなこと考えてます。

=スケジュール=

自分のスケジュール表は見たことありません。前の日に明日は、こういう仕事で何時にどこへというように、マネージャーに教えていただきます。

=スタジオ=

コマーシャルの撮影は映画のスタジオ、レコーディングのスタジオ、雑誌の撮影はまた別、スタジオっていっぱいあるの、びっくりしました。

【せ】

=声帯=セイタイ

声帯は丈夫なほうです。でも、ヴォイス・トレーニングをしてないと、発声のしかたが正しくなくなって喉を痛めるらしいんです。時間があったら、ヴォイス・トレーニングをしたいです。

=節食=セッショク

奈保子は太目なので、食べすぎないようにって、事務所の専務さんや他の人達に言われてます。でも、お腹がすいちゃうのでしっかり食べちゃいます。気をつけてるのは、ミルクにお砂糖を入れすぎないこと、ケーキやお菓子を食べないようにする事です。

=先生=センセイ

ゴリラ先生、奈保子の初恋の先生。粉浜小

学校の5年生の時の担任の先生で、名前は白石浩増先生。運動嫌いの奈保子に水泳を教えてくれたり、入院していた時も毎日のようにお見舞に来てくださいました。

【そ】

＝卒業＝ソツギョウ
高校1年の終業式。あの日決勝大会の翌日だったので、奈保子が学校をやめて東京へ行くってお友達に告げたら、みんな泣き出しちゃって、まるで卒業式みたいになってしまったんです。だからあの日は奈保子にとって女子学園の卒業式だったと思っています。

【た】

＝太陽＝タイヨウ
おはよう、こんにちわ、さようなら、この言葉、みんな太陽に関係あると思いませんか？

＝旅＝タビ
今まで、あまり遠くへ行ったことがなかったのに、今はお仕事であちこちに旅に出ます。初めての街で、初めての人に会えるって、とっても素敵。もっともっと旅をしたいです。

【ち】

＝中学＝チュウガク
住吉第一中学校。中学校時代の思い出は、あんまり勉強はしませんでした。毎日、ピアノを弾いたり、ギターを弾いたりばかり。それと、フォークソングクラブに入って、フォークに夢中になってました。

【て】

＝テスト＝
これはちょっと苦手ですね。音楽と国語と英語の成績はまあまあ、数学はどちらかというと苦手だったので、テストの時はビクビク。でもテストの前に猛勉強したという思い出はありません。奈保子は本当にノンビリ屋さんなのです。

＝デビュー＝
去年、55年の6月1日。もう少しで丸一年になります。

＝デュエット＝
大阪の頃、妹の由佳里とよくデュエットしました。由佳里も歌が好きで、デュエット以外にもおたがいにピアノの伴奏で歌ったり、連弾もよくやりました。

【と】

＝時計＝トケイ
腕時計はディズニー・ウォッチ。奈保子にとって、なくてならないのが目覚し時計、すごーくお世話になっているのです。

＝ドライヤー＝
最近は自分でも上手にドライヤーを使えるようになりました。でも、あんまり髪に近づけると髪がいたんでしまうんです。知ってますか？

＝ドラマ＝
歌のお勉強をしっかりしてから、ドラマをやってみたいなと思ってます。奈保子くらいの年の役で、とっても明るい女の子の役が合ってると思います



【な】

＝泣き虫＝ナキムシ
本当は泣き虫なのです。ドラマを見ていても、本を読んでいても、すぐに涙が出て、お父さんやお母さんに、よく笑われました。でも、人の前では泣かないように頑張っています。

＝悩み＝ナヤミ
やっぱり、ちょっぴり大胆なこと。少しやせたね。なんて言われると、すごく嬉しくなっちゃいます。

＝ナンバー＝
9番！　奈保子にとってはラッキーナンバーなのです。オーディションで優勝した時の忘れられない番号です。

【に】

＝日記＝ニッキ
つけられる時だけ、つけています。眠い時はちょっとね。でも日記をつけてると自分



の反省にもなるし、なるべくつけたいとは思っています。

【は】

＝拍手＝ハクシュ

初めてのコンサートの時、幕がおりた後もずっと拍手が続いて……。もう、信じられないというか、すっごく嬉しくて泣きたいのをがまんしてました。今でも忘れられません。

＝花束＝ハナタバ

たくさんお花をいただくたびに、飾りされなくて大変です。でも私のお部屋だけじゃなく、事務所にも飾っています。ありがとうございます。

＝バレンタインデー＝

残念ながら、バレンタインデーにチョコレートをあげたことはないんです。

＝ハワイ＝

優勝した時のごほうびにハワイへ行かせていただきました。あの時、飛行機に乗ったのが2度目でした。あんまり海がきれいで夢みたいでした。

【ひ】

＝ピアノ＝

小学校1年から5年生まで、ピアノを習ってました。その前に自分でオルガンを弾いていたので、練習曲もどんどん弾けるようになって、おけいこの日が楽しみでした。5年生でちょっと病気をして、おけいこはやめてしまいましたけど、お家では毎日毎日弾いていました。今度新しいお部屋で電気ピアノが弾けるのでとっても嬉しいです。

【ふ】

＝ファッション＝

ファッションには自信ありません。でも、いろんなものを着てみたいなって思います。ステージの衣装で気に入ってるのは、白のレースと、うすいブルーのワンピースです。

＝プライベート＝

私のプライベート・タイムは、お仕事のお休みの日。残念ながらお買物は出来ないけど、お洗濯やお掃除や、それからお料理を作ったり……。お母さんが来てくれることが多いのでとても楽しみ。ふだんの日はお風呂に入って、本を読んでバタンと寝るだけです。

【へ】

＝ベッド＝

おふとんはとっても便利ですね。片づければお部屋も広くなるし。でもベッドは時間の節約にも最高。気分も変わりそうです。

【ほ】

＝保母＝ホボ

保母さん、幼稚園の先生、小さい頃からあこがれた、私の将来のお仕事。子供が大好きだし、お歌を教えてあげたりするのが夢でした。まさか、今のお仕事につくとは思わなかったから、あのまゝ学校へ行っていたらどこかの保育園とか幼稚園でお仕事をしていたと思います。

【ま】

＝待ち合わせ＝マチアワセ

上京する前、大阪の高校生だった奈保子は、友だちとの待ち合わせは、駅の改札口が多かったです。

＝マンドリン＝

透明な音色の楽器。ステージでは「恋はみず色」を弾いてます。

【み】

＝見送り＝ミオクリ

去年の3月31日、奈保子は大阪空港で家族が見送る中、飛行機で東京へ旅立ちました。東京と大阪なんて飛行機でアッという間に

着いちゃうけど、毎日家族の顔を見られないと思うと、ちょっぴりセンチです。

〃水薬〃ミズグスリ
小っちゃい頃、かぜをひくと病院で褐色の飲み薬をもらいました。とっても甘～くて口あたりが良かったことを覚えています。

〃道〃ミチ
アスファルトで整った道より、お日さまの光をたっぷり含んだ土の道の方があったかい感じがしませんか？

【む】
〃胸〃ムネ
胸のこと言われるとすごく恥かしいんです。水着のときはもっと恥かしい。[illegible]見える洋服を探してます。

【め】
〃名作〃メイサク
映画だったら「ラブ・ストーリー」、本なら グリム童話かな。あったかい愛のある物語は、何でも感動してしまうんです。

〃めだか〃
春を思い出します。清らかな川の流れに身をまかせて泳いでるめだかさん。あ、そうだ「目だかの学校」ていう歌がありましたね。

【も】
〃モヘア〃
やわらかい肌ざわりで、真冬でもこれ一枚でホッカホカ気分。ピンクとか白とか、淡い色をたくさん持ってます。



【や】
〃屋根〃ヤネ
子供の頃の奈保子は、真っ白い壁でできた赤い屋根のお家に住みたいな[illegible]ました。

〃ヤング〃
若いって素晴らしいこと。別に年齢がってことじゃなくて、そうですね、何にでもトライして、無条件で楽しめる人。奈保子は若さいっぱいで、毎日頑張ってます。

【ゆ】
〃勇気〃ユウキ
ステージに上がる前、とっても緊張します。[illegible]
でも奈保子を待ってくれているファンのみなさんのことを考えると、勇気をふり絞ってステージへと向かいます。

〃夕焼け〃ユウヤケ
♪夕焼けこやけで～♪ 幼稚園へ行ってる頃、仲良しのお友だちと手をつなぎながら歌って帰りました。空いっぱいオレンジ色に輝いている夕焼はいつ見ても、奈保子の胸をときめかしてくれます。

〃浴衣〃ユカタ
近くの神社での夏祭り。金魚すくいや綿アメ、ヨーヨー、ほんと楽しいですね。夏祭りと浴衣はとっても合います。ノリが[illegible]

〃雪〃ユキ
雪の日は早起きさんになります。あたり一面まっ白な道に靴あとをつけたかったから。あ、これは昔の話です。今でも雪の日はあまり傘をさしたくないです。髪や肩に落ちる雪、手のひらにのるとすぐ溶けてしまうのが、たまらなくおもしろいからです。

【よ】
〃洋服〃ヨウフク
奈保子の普段着は、トレーナーにジーンズが多いです。お部屋のそうじとかお洗たくをする時とても便利なんだもの。

〃呼び名〃ヨビナ
仕事をする時の奈保子は、[illegible]と呼んで、

プライベートは、ナホコといいます。だから大阪の友だちは今でも゛ナホ゛。

＝夜＝ヨル

奈保子は仕事から家に帰るのが遅いんです。お風呂に入ってから、明日の準備をしてすぐ眠ってしまうの。時々さみしくなると大阪へ電話してお母さんの声を聞くんです。そうすると安心してグッスリ眠むってしまいます。

【ら】

＝落書き＝ラクガキ

パステルカラーのクレヨンで、奈保子の似顔絵を描いたら、妹の由佳里の顔になっちゃいました。

＝ラジオ＝

以前、大好きなイルカさんのラジオ番組があったんです。深夜放送にもかかわらず、毎週楽しく聞いてました。次の日、授業中眠たくてたまらなかったけど、授業とイルカさんを比べると、やっぱりですね。奈保子はいけない生徒でした。

【り】

リズム

ピアノをやっていたせいか、音楽が流れると指が勝手にリズムをとってるんです。

＝りんご＝

まっ赤なほっぺのことを、りんごさんみたいって言いますね。冬、外をかけ回わる子供たちを見るとみんなほっぺが赤くなって、思わず゛かわいい゛って言ってしまいます。

【る】

＝ルックス＝

両親からいただいた顔、好きなとこ嫌いなとこもあるけど、気に入ってます。

【れ】

＝レモン＝

もうすぐ夏ですね。日に焼けた肌にレモン色のTシャツを着たら素敵かしら。

＝恋愛＝レンアイ

難しい事は分からないけど、相手のことを大切に思うってことかしら。でも奈保子は゛愛゛という言葉を口にするのが、ちょっぴり恥かしいんです。

【ろ】

ロウソク

誕生日、7月24日に奈保子は、バースデーケーキに18本のロウソクを飾ります。

【わ】

＝別れ＝ワカレ

10年間も一緒に暮らしていた、セキセイインコのピーコが去年の春死にました。生きている者には必ず死が訪れるんですね。



カメラ　高橋晴彦　編集協力　株式会社P.E.C.　スタイリスト　宮石尚子
監修／香川洋一郎・清水寿勝　協力　芸映プロダクション
撮影協力　ラブ・パトリック　衣裳協力／キャビン、ハニーハウス、ミルク、キャン、ダイアナ

発行人　荒井敏行　編集人／福島昌実　発行日　1981年6月26日
発行所／株式会社　音楽専科社
〒104 東京都中央区銀座5－1　7数寄屋橋ビル　TEL.03(574)0201(代表)
印刷所／大日本印刷株式会社
〒162 東京都新宿区市谷加賀町1－12　TEL.03(266)2111
定価　650円(〒120円)●乱丁落丁はお取りかえします。無断転載、複写その他を禁じます。

音楽専科臨時増刊
河合奈保子
＝そよ風のメッセージ＝


午後の陽差し
夕暮れ町のひとときが好き
















International
1958


International
1958

音楽専科 別冊

石野 真子
ラスト・コンサート



▶全国縦断グッド・ラック・コンサートを誌上再現!!

▶本誌独占!!　デビューから今日までの思い出の特写フォトを一挙掲載!!

▶初公開、真子の生いたちフォト・グラフィティー

※限定出版ですので品切れが予想されます。お早めにお近くの書店に御予約下さい。

6月30日 緊急発売!!

●A４判●全84頁
●予価700円

■発売／音楽専科社　〒104 東京都中央区銀座5-1-7(数寄屋橋ビル)　TEL03(574)0201(代)

ONGAKU SENKA 臨時増刊
河合奈保子 そよ風のメッセージ



若さがはずんでいます！奈保子の季節



今や人気No.1河合奈保子 待望のサードアルバム！

河合奈保子
TWILIGHT DREAM

●愛してます●Hello Goodbye●Mr.パイロット●そしてシークレット
●キャンディ・ラブ●ハートはもう春●17才
●イチゴタルトはお好き？●ふたりのWonderland
●Twilight Dream

レコード▶AF-7048 ¥2,800(カセット：CAR-1046)── 好評発売中 ──

竜 真知子作詩、馬飼野康二作曲、大村雅朗編曲
＊NAOKO 5thシングル（6月1日発売）
Smile for Me
スマイル・フォー・ミー
▶AH-71 ¥700

＊好評発売中
17才
◉河合奈保子
片面/キャンディ・ラブ
▶AH-39(17cm盤) ¥700
竜 真知子作詩／水谷公生作曲 船山基紀編曲

コロムビアレコード・テープ

発行所 東京都中央区銀座五丁目一番七号数寄屋橋ビル 株式会社 音楽専科社 定価650円（送料250円）

Printed in Japan 大日本印刷株式会社